

第 18 回男子ジュニアハンドボールアジア選手権

7月25日ヨルダンで決勝を行い、北陸高等学校出身の4選手がメンバー入りしている日本代表が韓国を下し、見事優勝を果たしました。

同校出身の長谷川惣唯選手が、大会ベストセブンに選ばれました。

決勝では、GK山崎選手が好セーブを連発、永森選手はチーム最多12得点をマーク
長谷川選手は5得点を決めています。

なお、優勝した日本代表は、来年6月～7月にポーランドで開催のジュニア世界選手権
出場権を獲得しました。

写真左から

永森 悠透選手、長谷川 惣唯選手、山崎 碧翔選手、栃尾 佑選手

